



二〇二六年十一月四日(水)

講師 旭堂南龍

講演会 「高畑誠一物語」

内子町 郷土の偉人顕彰事業

一八八七（明治二〇）年、内子町に生まれた高畑誠一は、語学力と交渉力を磨いて海外に雄飛し、鈴木商店ロンドン支店長、のちには日商株式会社（現在の双日株式会社）を設立し、大正から昭和にかけての日本の貿易界に大きな影響をもたらした人物です。その生涯と功績を当時の写真や画像とともに、上方講師の旭堂南龍が語ります。

旭堂南龍 プロフィール

1980年生まれ。2004年、旭堂南左衛門へ弟子入り、「南青」となる。
2018年上方講談界で27年ぶりの真打昇進。同時に上方の名跡「南龍」を襲名。2021年、第76回「文化庁芸術祭」新人賞受賞。

日時

2026年11月4日（水）

開場 13:30 開演 14:00

会場

内子町共生館ホール

〒795-0303 愛媛県喜多郡内子町平岡甲185-1
Tel. 0893-43-1221

料金

内子町民：無料 / 町外：1,000円

（※ただし、チケットは必要） 未就学児入場不可

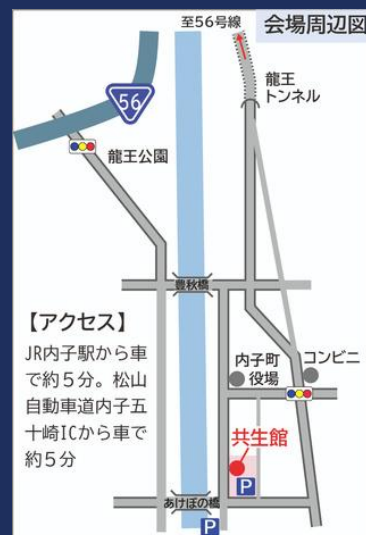
チケット販売
お問合せ

内子町 町並・地域振興課 Tel. 0893-44-2118

〒791-3392 愛媛県喜多郡内子町内子1515番地（※平日 8:30~17:00）

主催：内子町 共催：内子町教育委員会 協力：辰巳会 鈴木商店記念館

9月15日（火）
9:00~
チケット
販売開始



皇帝と恐れられた
商社マン

高畑誠一



1887（明治20）年、愛媛県内子町生まれ。
1909（明治42）年、鈴木商店入社。20代でロンドン支店長に抜擢され、第一次世界大戦中のヨーロッパにおいて三国間貿易を導入するなど手腕を振るい、鈴木商店の黄金時代を築いた。

「英国政府と云えども一介の客にすぎぬ」という高畑の交渉のタフぶりに、当時英国の海軍大臣だったウィンストン・チャーチルが「皇帝（ドイツ皇帝のこと）を商人にしたような男」と評したと伝わる。

1927（昭和2）年に鈴木商店が破綻した翌年には、永井幸太郎らと共に日商株式会社（現在の双日株式会社）を設立。日本屈指の総合商社に育てあげた。

本場イギリス仕込みのゴルフの腕前で、日本におけるゴルフの普及にも貢献した。

鈴木商店とは

1874（明治7）年、神戸で洋糖引取商として創業。

大番頭・金子直吉主導のもと、製糖、樟脳、薄荷からセルロイド、鉄鋼、造船、人絹と軽工業から重化学工業へと多角化。国益を重視した経営方針で事業を拡大した。

1917（大正6）年には売上が当時のGNPの1割にも匹敵し、日本一の総合商社となる。

1927（昭和2）年、昭和金融恐慌のあおりを受けて経営破綻。「幻の総合商社」とも呼ばれる。



漫画「高畑誠一物語」

内子町は2024年度、郷土出身の偉人・高畑誠一の顕彰をするため、漫画「高畑誠一物語」を制作しました。

以来、毎年少年の日の記念品として町内の中学2年生に配布されています。

講演会「高畑誠一物語」はこの漫画を原作として制作されています。漫画は内子町HPにて全文公開されています。

ぜひ右のQRコードからご覧ください。

